長野県議会議員 金子ゆかり「県政ながの」諏訪支部だより

第5号
2012年7月

ごあいさつ

蒸し暑い日々が続きましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？　今月も長野県北部に地震が発生し、また、九州地方には時雨量百ミリを超える「経験のない豪雨」（気象庁の警告表現。諏訪市では21年に経験あり）が甚大な災害を起こしています。地震、豪雨、土石流、津波など自然の猛威に人の力は毛頭歯がたちません。普段は災害への備えを、災害時には早急な避難を。これが命を守る鍵です。自分自身で自分の命を守るという基本中の基本を再確認し次世代へ伝えたいと思います。

国会では、消費税引き上げの法案をめぐり与党が分裂するなど、政権も地盤が揺らいできました。税と社会保障の改革に加え、東日本大震災の復興、日本周辺の国際政治の緊張など、山積する課題に対応できるように政治的な基盤も安定が大事です。一方、円高など経済的にも課題は尽きませんが、県経済には持ち直しの動きが見られます。知恵を絞り、目標を定め、この夏の暑さに対しても、力を合わせて乗り切って行きましょう。

ここに、県議会6月定例会の報告をまとめました。ご一覧の上、今後とも地域の発展を第一に活動してまいりますので、皆様のご指導、ご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「県政ながの」諏訪支部長
長野県議会議員
金子ゆかり

◆長野県議会6月定例会　議会報告◆

山口教育長

議会冒頭に知事また、本会議にて教育長から連続した教員の不祥事に対するお詫びと、今後綱紀粛正を徹底し、県民の信頼回復に努めるとの報告があり、また警察本部長からも、不祥事に関して同様の表明がありました。各委員会でも職員の資質向上、再発防止などに関して意見が交わされました。

補正予算案は、県北部地震に加え、冬季の豪雪など災害対応、経済状況による離職者、失業者のための緊急雇用創出基金事業、自然エネルギーを活用した災害に強い地域づくりの為のグリーンニューディール基金の積み増しなど、総額38億25百万円余の予算を可決しました。

また、企業局の電気事業の民営化計画は、エネルギー政策の転換期にあることなどから一旦白紙に戻すとの意向が示されました。

◆一般質問に登壇しました◆

不登校への対応について

※一般質問のビデオを県議会のホームページで見ることができます
http://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/tyousa/movie/library2406.htm

長野県の不登校の数字は減ったといいますが、長期欠席の数字が増えています。子どもが不登校や長期欠席になったとき、どんな相談窓口があり、どんな人々がサポートしているのかを明らかにしました。そして、教育委員会を中心とする対応だけでは不十分である実態を指摘しました。

教育長には、スクールソーシャルワーカーの一層の充実を約束していただき、健康福祉部長からは、引きこもりへの不安に対する実態の答弁を得ました。また、知事には、教育委員会はもとより、県下の児童相談所、保健福祉事務所、医療機関、NPOなどとの連携の必要性、重要性を認識して、企画部に新設した次世代サポート課を取りまとめ役としてサポートに入る旨の答弁を頂きました。不登校問題の内包する諸課題は私たちの社会のあり方を反映しています。皆で、関心を深めてほしいと思います。

阿部知事

意見書案を可決しました

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- 防災・減災のための社会資本の再整備と経済活性化を求める意見書
- 緊急事態基本法の早期制定を求める意見書
- 森林整備加速化・林業再生事業の拡充を求める意見書
- 尖閣諸島の実行支配を推進するための法整備を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- 新たな教職員定数改善計画案の着実な推進を求める意見書
- 私学助成制度の拡充等を求める意見書　など

農政林務委員会報告

委員長報告

現在策定中の次期「食と農業農村振興計画」に県民との議論と理解を深めるよう求め、TPP協定は不透明な状況にあるものの、本県農業・農村の課題として人づくり、農産物のブランド化など戦略性をもって早期に取り組むよう求めました。

本会議にて知事から継続の意向が示された「森林づくり県民税」は、委員会でも実績と評価、新しい県民税の使途、税額などにつき意見が交わされ、具体的仕組みや使途を早急に示し県民意見を十分に反映するよう求め、また、県産材の利用拡大、「再生エネルギーの固定価格買取制度」を利用した木質バイオマスの有効活用等への取り組みも強く求めました。

今年も広報委員会委員に委嘱されました

◆今定例会の報告は、7月28日に新聞広告に掲載します。
◆また、今年は「こんにちは県議会です」を10月末に信州大学で開催します。

発行責任者　金子ゆかり
平成24年7月25日発行

ゆかりんの県政報告

ふるさとの森づくり県民のつどい・長野県植樹祭

（6月9日　野沢温泉村オリンピックスポーツパーク）

▲栄村ブースを訪問して激励しました。

▲昨年の県北部地震からの復興記念として、オオヤマザクラの木を知事らと一緒に植樹しました。

農政林務委員会現地視察調査　（6月12日）

▲ほうれん草の水耕栽培にも高原の日照時間等 自然条件は優位とのこと。自然の恵みに感謝 !!（富士見町）

▲平成21年の集中豪雨で荒れた諏訪大社上社のご神体山（宮山）の整備状況を視察しました。

7/5 議会改革調査会

議会改革の切り口として、模索、研究してきた通年議会については、継続して研究を深めることとして、決算特別委員会のあり方の改革を進めることになりました。決算での指摘を次年度予算に反映できる工夫を議会改革に反映したいと考えます。

選挙区・定数研究会

「選挙区と議員定数について」議長から諮問されました研究会の方向性が見えてきました。「22年度の国勢調査結果が出るまで議論を先送りし、23年の改選後に見直す」としてきた課題ですが、「国の自治法改正案の行方によって大幅な見直しが不可避となるため、その動向を見守る」として、再び改革を見送る意見が強くなりました。

今期の当選議員の多くがこれに関して改革を公約してきたことを重視して、「県政ながの」では、せめて一票格差を是正する具体案を提示しました。結論は今年度中に議長に答申する予定です。

がん制圧議員連盟

国の「がん対策基本法」が制定され、長野県では議員連盟を通して議員提案による条例の制定を目指して、議会内にがん対策推進条例（仮称）制定検討調査会を設け準備を進めています。春から会長と共に幹事長として準備を進め、条例文の具体的たたき台となる「調査会長（案）」を今議会中に調査会へ提示しました。

これから1年間、議論の対象となります。多くの皆さんの注目と意見をお待ちしています。

▲厚労省がん対策推進官を招いての勉強会

男女共同社会づくり推進議員連盟の総会

男女共同参画では、全国に比して結果が追いつかない長野県の現状に照らし、次期5ヵ年計画を見据えて、今計画の目標の達成状況につき担当部から報告を受けました。議員連盟として、次期5ケ年総合計画に対しての提言を準備したいと考えています。

政務調査費報告

平成23年度、会派「県政ながの」で政務調査費を充当して行った調査研究活動に要した経費の総額は、20,466,285円。支給されました政務調査費は19,140,000円でした。その内、諏訪支部では活動実費2,847,692円中、2,380,000円が充当されました。

長野県議会では社会情勢を考慮して、年間規定額より1,276万円を削減する申し合わせをしています。

ワシントン全米さくらまつり親善訪問（4/11～4/18）

●尾崎行雄 当時東京市長から、姉妹都市ワシントンへ桜3000本が贈られて100周年。親善友好の訪問団に参加してまいりました。

全米さくらの女王選出のパーティにつづき、翌日のパレードで手を振っていた石原慎太郎都知事から、突然の「尖閣列島を購入」の発言にはびっくりでした。

▲藤崎日本大使の公邸を訪問。大使夫人（左）、日本さくらの女王 玉川さん（中央）と。

▲クリスチャン全米さくら祭り実行委員長に阿部知事の親書と、長野さくらの会小林会長から託されたお土産をお渡ししました。

▲5/22. 帰国後、知事室にて

帰朝報告

▼4/28. 平成24年長野さくらの会総会にて